

共同研究 海域・海村の景観史に関する総合的研究

期間：2015年～

[所員] 安室 知 内田青蔵 大川 啓 小熊 誠 昆 政明 佐野賢治 後田多敦
須崎文代 関口博巨 泉水英計 高城 玲 平井 誠 廣田律子 前田禎彦
[客員研究員] 橋村 修 橋本道範 松田陸彦
[研究協力者] 石井和帆 小野寺佑紀 (歴史民俗資料科学研究科博士後期課程)

2019年度 活動報告

安室 知

[研究目的]

本研究所はその発足の早い段階から海域・海民史の研究に取り組み、これまでも能登半島や瀬戸内海の島嶼部などにおいて多くの研究蓄積をなしてきた。また近年は、国際常民文化研究機構のもと「海域・海民史の総合的研究」として3つの共同研究を企画・実施してきた。本共同研究はそうした研究蓄積を継承し、常民研全体として海をテーマにした研究を発展させようとするものである。

海は水産物だけでなくさまざまな資源を生み出す。そして、その開発・利用に当たっては、人・物・情報の行き来を促し、そうした営みを通して社会知や民俗知が膨大に集積される空間となっている。反面、負の記憶として、海域の利用をめぐる個人や村のレベルから国際的な問題までさまざまな対立や紛争を生んできたし、また海という大自然とたえず対峙する海村では大きな災害や事故が歴史的に繰り返されてきた。そうした海域・海村の歴史と民俗について、漁場図など絵図として残された景観を手がかりに、本研究所の人的資源を活用し学際的に研究することが本共同研究の主たる目的となる。

[2019年度活動]

2019年度第1回(通算、第8回)の「海域・海村の景観史に関する総合的研究」研究会(通称、漁場図研究会)は、2020年1月25日(土)に、神奈川大学横浜キャンパス3号館3-201室を会場としておこなわれた。常民研の関係者以外にも、奈良文化財研究所や琵琶湖博物館、富山大学など多数の参加があった。当日のスケジュールは以下の通りである。

趣旨説明 安室 知(研究代表者、日本常民文化研究所)

発表1. 「地先漁場における磯根の信仰——三重県志摩地方の「石経」を事例に——」

小野寺佑紀(研究協力者、院生)

発表2. 「ジャワ海の沖合漁場利用と共同占有権——1910年作成の漁場図から——」

北窓時男(ゲストスピーカー、アイ・シー・ネット(株))

発表3. 漁場図翻刻プロジェクト報告

小野寺佑紀、太田原潤、磯部満、児玉幸晴(漁場図翻刻プロジェクトメンバー)



写真1 第8回 漁場図研究会 公開研究集会
(2020年1月)



写真2 発表の様子 (2020年1月)

発表4. 「“猟場図”を読む——片野鴨池の伝承カモ猟をめぐる——」

安室 知 (同上)

1 番目の発表は、「地先漁場における磯根の信仰——三重県志摩地方の「石経」を事例に——」と題し、小野寺佑紀氏から三重県志摩地方におけるフィールドワークをもとに、磯根にまつわる信仰や民俗行事について報告がなされた。

2 番目の発表は、「ジャワ海の沖合漁場利用と共同占有権——1910年作成の漁場図から——」と題し、北窓時男氏により、1910年にオランダ調査船が作成した漁場図を手がかりに、ジャワ海の沖合漁場の利用実態について報告がなされた。

3 番目の発表は、小野寺佑紀氏と太田原潤氏による漁場図翻刻プロジェクトの概要説明の後、磯部満氏と児玉幸晴氏から翻刻プロジェクトの具体的な作業内容とそれにより明らかとなった問題点について報告がなされた。

4 番目の発表は、「“猟場図”を読む——片野鴨池の伝承カモ猟をめぐる——」と題し、安室知より、石川県加賀市の片野鴨池に伝承される投げ網によるカモ猟を例にして、近現代における狩猟のもつ生計活動としての意義と「猟場図」が描かれた社会的背景について報告がなされた。

以上、4 題の研究発表の後、フロアーを含めての質疑応答がおこなわれた。その中では、常民研100周年記念に向けて、常民研が漁業制度調査のおり収集した多数の漁場図について、『漁場図集成』(仮称)として刊行をおこなうことがあらためて確認された。また、今後の本共同研究の予定として、次年度の常民文化研究講座として2020年12月12日(土)に次回の漁場図研究会がおこなわれることが周知された。

■ 2019年度の活動

○第8回研究会「地先漁場における磯根の信仰——三重県志摩地方の「石経」を事例に——」小野寺佑紀、「ジャワ海の沖合漁場利用と共同占有権——1910年作成の漁場図から——」(アイ・シー・ネット)、「漁場図翻刻プロジェクト報告」小野寺佑紀、太田原潤・磯部満・児玉幸晴(漁場図翻刻プロジェクトメンバー)、「“猟場図”を読む——片野鴨池の伝承カモ猟をめぐる——」安室知 2020年1月25日 神奈川大学横浜キャンパス3号館3-201室

○漁場図データベースの作成(通年) 石井和帆・小野寺佑紀、太田原潤(院生)

○漁場図翻刻作業の実施(通年) 漁場図翻刻チーム/飯島勤・池田真紀子・磯部満・岡田茂・笠原和子・川副禮子・児玉幸晴・小山昭一・佐々木公文・野村玲子・藤井泰助・山口明男